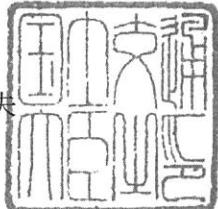


認定書

国住参建第 3050 号
令和 5 年 12 月 21 日

ケイミュー株式会社
代表取締役 社長 木村 均 様
吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 斎藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3633-4
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物纖維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材[木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はセッコウボード]表張／セッコウボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位: mm)

項目	仕様
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	145.5以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位: mm)

項目	仕様
①荷重支持部材	<p>柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用単板積層材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (4)平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材または第六号に規定する木材 ・断面寸法 105×105の断面寸法以上 ・密度 $0.38 \pm 0.08 \text{ g/cm}^3$以上
②間柱	<p>木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 27×105の断面寸法以上 ・間隔 500以下
③胴縁	<p>木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 一般部 15×40の断面寸法以上 目地部 15×40の断面寸法以上を2列または15×80の断面寸法以上 ・間隔 500以下
④受け材	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)なし (2)木 ・種類 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)製材 2)集成材 3)単板積層材 ・断面寸法 25×25の断面寸法以上 ・取付位置 構造用面材または内装材横目地位置

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑤外装材	<p>イソシアヌレートフォーム裏張鋼板</p> <p>[1]構成</p> <p>[1]-1表面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(18)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) (2)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (4)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317 (5)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 (6)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (7)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (8)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 (9)一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 (10)冷間圧延鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 (11)熱間圧延軟鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3131 (12)電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3313 (13)建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) (14)溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323

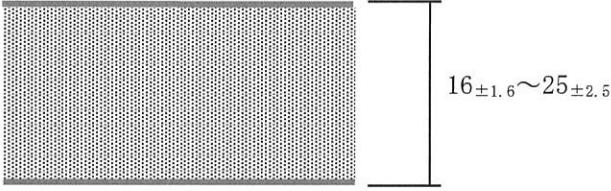
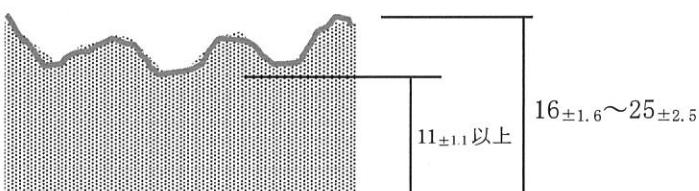
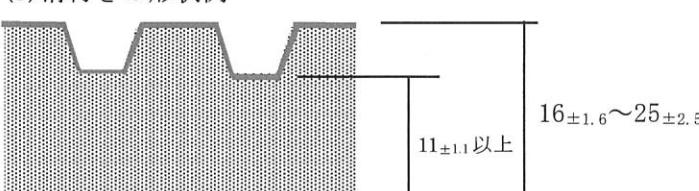
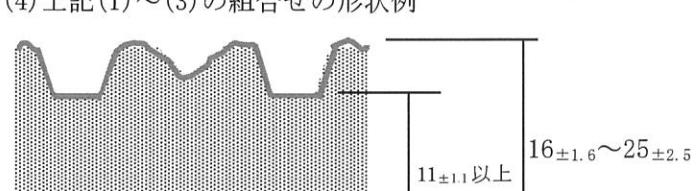
(寸法単位 : mm)

項目	仕様												
[5]外装材 (つづき)	<p>(15) ポリエスチル被膜溶融亜鉛めっき鋼板 ・材質 1)～11)のうち、いずれか一仕様とする 1) 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定: NM-8697) 2) 溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302 3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317 4) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) ・規格 JIS K 6744 6) 一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101 7) 冷間圧延鋼板 ・規格 JIS G 3141 8) 熱間圧延軟鋼板 ・規格 JIS G 3131 9) 電気亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3313 10) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(国土交通大臣指定建築材料: MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) 11) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323 (16) 冷間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4305 (17) 熱間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4304 (18) 塗装ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 3320 ・(16)～(18)の鋼種: SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1 ・厚さ 0.27以上</p> <p>[1]-2芯材 ・材質 イソシアヌレートフォーム ・組成(質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td>ポリイソシアネート</td> <td>66_{±7}</td> </tr> <tr> <td>ポリエーテル系ポリオール</td> <td>3_{±3}</td> </tr> <tr> <td>ポリエスチル系ポリオール</td> <td>23_{±4}</td> </tr> <tr> <td>難燃剤(りん系)</td> <td>5_{±2}</td> </tr> <tr> <td>三量化触媒、整泡剤</td> <td>3_{±3}</td> </tr> <tr> <td>発泡剤(HFC系、HFO系)</td> <td>5_{±3}～11_{±3}(外割)</td> </tr> </table> <p>・イソシアネート指数 279 ・密度 37.5_{±4}kg/m³</p>	ポリイソシアネート	66 _{±7}	ポリエーテル系ポリオール	3 _{±3}	ポリエスチル系ポリオール	23 _{±4}	難燃剤(りん系)	5 _{±2}	三量化触媒、整泡剤	3 _{±3}	発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _{±3} ～11 _{±3} (外割)
ポリイソシアネート	66 _{±7}												
ポリエーテル系ポリオール	3 _{±3}												
ポリエスチル系ポリオール	23 _{±4}												
難燃剤(りん系)	5 _{±2}												
三量化触媒、整泡剤	3 _{±3}												
発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _{±3} ～11 _{±3} (外割)												

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[5]外装材 (つづき)	<p>[1]-3裏面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)アルミニウム合金はく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4160 (2)はり合わせアルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS Z 1520 (3)塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (4)溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (5)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (6)溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (7)塗装溶融ーアルミニウムーマグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 ・厚さ (1) 0.02 ± 0.002以上 <ul style="list-style-type: none"> (2) 0.2 ± 0.1 (3)～(7)0.15以上 <p>[1]-4水密材A</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)なし (2)あり <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)合成ゴム系 2)軟質塩化ビニル系 3)ポリウレタン系 4)アクリルウレタン系 5)ポリサルファイド系 6)変成シリコーン系 7)ポリエチレン系 ・使用量 0.1～55g/m(有機質量) <p>[2]表裏面塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)なし (2)あり <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～9)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)フッ素系樹脂 2)アクリル系樹脂 3)アクリルウレタン系樹脂 4)ウレタン系樹脂 5)アクリルシリコン系樹脂 6)無機質系 7)エポキシ系樹脂 8)ポリエステル系樹脂 9)上記1)～8)の組合せ <p>[3]表裏面合計有機質量 (芯材・水密材を除く部分) 60g/m²以下</p>

(寸法単位 : mm)

項目	仕 様
[5]外装材 (つづき)	<p>[4]形状</p> <p>[4]-1断面形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $16_{\pm 1.6} \sim 25_{\pm 2.5}$ (最低厚さ $11_{\pm 1.1}$以上) ・働き幅 $400_{\pm 40}$ ・長さ 10000以下 ・断面欠損率 $11.8_{\pm 1.18}\%$以下 ※ ※裏面から16以下の部分の溝深さによる 欠損率とする ・裏面隙間 $4.6_{\pm 0.46}$以下 ・a部重なり $10.4_{\pm 1.04}$以上 ・b部重なり $29.5_{\pm 2.95}$以上 <p>[4]-2表面材形状</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 平滑</p> <p>(2) エンボス</p> <p>(3) 溝付き</p> <p>(4) 上記(1)～(3)の組合せ</p> <p>(1) 平滑の形状例</p>  <p>(2) エンボスの形状例</p>  <p>(3) 溝付きの形状例</p>  <p>(4) 上記(1)～(3)の組合せの形状例</p>  <p>[5]張り方 縦張</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥構造用面材	<p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)木質系ボード</p> <p>1)～6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)普通合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 2.3以上 <p>2)構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 5以上 <p>3)構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>4)パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 <p>5)ミディアムデンシティファイバーボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 2.5以上 <p>6)シージングボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 12以上 <p>(3)セメント板</p> <p>1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>2)硬質木毛セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>3)フレキシブル板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 3以上 <p>4)パルプセメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5414 ・厚さ 6以上 <p>5)けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 5以上 <p>6)両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定：QM-0457)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9以上 <p>7)スラグせっこう板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 5以上 <p>(4)火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上

(寸法単位 : mm)

項目	仕様
⑥構造用面材 (つづき)	<p>(5)せっこうボード</p> <p>1)~6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 <p>2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 <p>3)両面ボード用原紙張／せっこう板 (国土交通大臣認定 : NM-4127)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上 <p>4)ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定 : QM-0954-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上 <p>5)ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定 : QM-0955-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上 <p>6)ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定 : RM-0059)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上
⑦充てん断熱材	<p>人造鉱物繊維断熱材</p> <p>1)~4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)グラスウール断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m³以上 <p>2)グラスウール保温材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m³以上 <p>3)ロックウール断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m³以上 <p>4)ロックウール保温材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m³以上
⑧内装材	<p>せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <p>(1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 <p>(2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 <ul style="list-style-type: none"> ・端部形状 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする <p>1)スクエア</p> <p>2)ベベル</p> <p>3)テーパ</p>

2)副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①防湿紙	<p>(1)～(13)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)アスファルトフェルト ・規格 JIS A 6005</p> <p>(3)透湿防水シート ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂</p> <p>(4)プラスチックシート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂</p> <p>(5)防水通気シート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂</p> <p>(6)オレフィン系シート</p> <p>(7)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930</p> <p>(8)包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702</p> <p>(9)農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781</p> <p>(10)上記(2)～(9)に高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)を組合せたもの</p> <p>(11)上記(2)～(10)の組合せ</p> <p>(12)上記(2)～(11)にアルミ蒸着したもの</p> <p>(13)上記(2)～(11)にアルミ箔を貼合せたもの ・単位面積質量 860g/m²以下</p>
②防水紙	<p>①防湿紙の(1)～(13)うち、いずれか一仕様とする</p> <p>・単位面積質量 860g/m²以下</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
③シーリング材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーティング材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・使用量 1g/m以上
④バックアップ材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり (水密材Bおよび水密材Cがない場合のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～8)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)軟質塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成シリコーン系 8)ポリエチレン系 ・使用量 0.3～100g/m
⑤役物	<p>[1]中間水切り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2)塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4)塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6)ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚さ 0.35以上 ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)なし 2)フッ素系樹脂 3)アクリル系樹脂 4)アクリルウレタン系樹脂 5)ウレタン系樹脂 6)アクリルシリコン系樹脂 7)無機質系 8)エポキシ系樹脂 9)ポリエステル系樹脂 10)上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m²以下(表裏面合計有機質量)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑤役物 (つづき)	<p>[2]端面カバー</p> <p>(1)、(2)のいずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2)塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4)塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6)ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 7)アルミニウム合金押出形材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4100 ・厚さ 1)～6)0.35以上 7)1以上 ・水抜き孔 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)なし 2)あり ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)なし 2)フッ素系樹脂 3)アクリル系樹脂 4)アクリルウレタン系樹脂 5)ウレタン系樹脂 6)アクリルシリコン系樹脂 7)無機質系 8)エポキシ系樹脂 9)ポリエステル系樹脂 10)上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m²以下(表裏面合計有機質量)

(寸法単位 : mm)

項目	仕 様
⑥留付け材	<p>[1]-1外装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>[1]-2外装材補強固定用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 3.5$以上×L25以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向) <p>(3) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 1.6$以上×L19以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向) <p>[2]胴縁固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[3]構造用面材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>[4]役物固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下(千鳥) <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下(千鳥) <p>[5]内装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部) <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[6]防湿紙固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> 寸法 幅10以上×長さ6以上 間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[7]防水紙固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> 寸法 幅10以上×長さ6以上 間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[8]充てん断熱材固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> 寸法 幅10以上×長さ6以上 間隔 300以下(両端部)
⑦内装材目地処理材	<p>[1]縦目地部</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)～(3)または(2)と(3)の組合せのうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)せっこう系パテ (3)ジョイントテープ <ul style="list-style-type: none"> 材質 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ガラス繊維 3)ポリプロピレン系 4)ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ <p>[2]横目地部</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)または(1)と(2)の組合せのうち、いずれか一仕様とする (1)せっこう系パテ <ul style="list-style-type: none"> 塗布量 30g/m以上 (2)ジョイントテープ <ul style="list-style-type: none"> 材質 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ガラス繊維 3)ポリプロピレン系 4)ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ

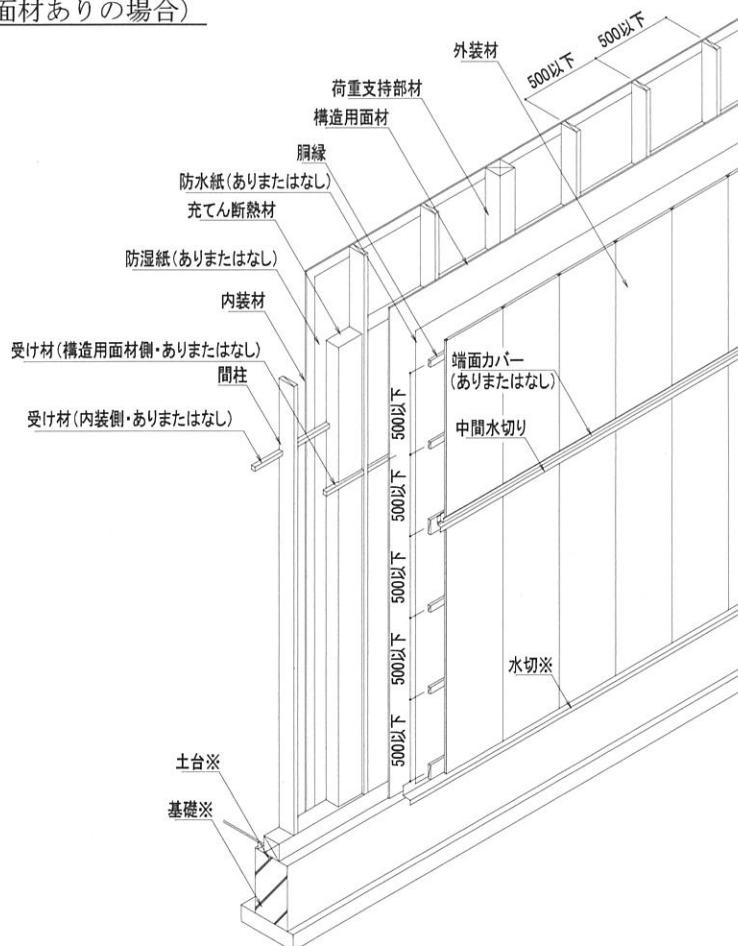
(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑧外装材補強固定用留付け材防水材	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)水密材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)シリコン系 8)ポリエチレン系 9)オレフィン系 10)1)～9)の組合せ <p>(3)シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーティング材 ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック <ul style="list-style-type: none"> ・(2)と(3)の使用量 15g/m²以下([5]外装材[3]表裏面合計有機質量との合計有機質量60g/m²以下とする)
⑨補強金物	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 [5]外装材[1]-1と同じ ・厚さ 0.27以上 ・間隔 外装材の幅による（水平方向） ・形状 下図参照（代表例）

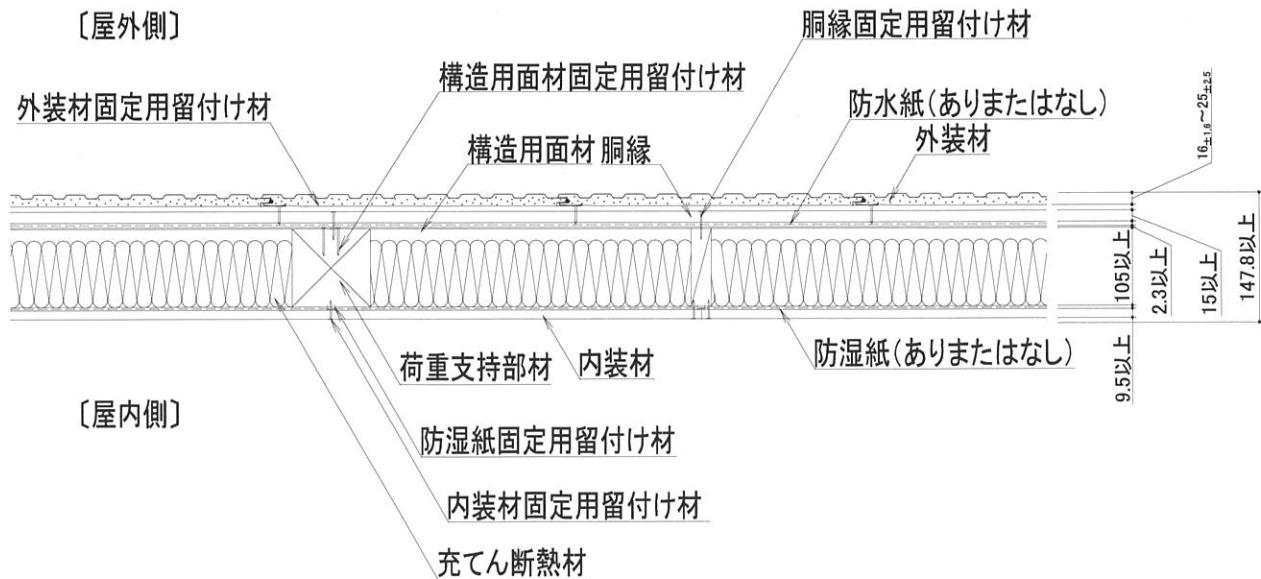
4. 構造説明図

(寸法単位 : mm)

斜視図(構造用面材ありの場合)



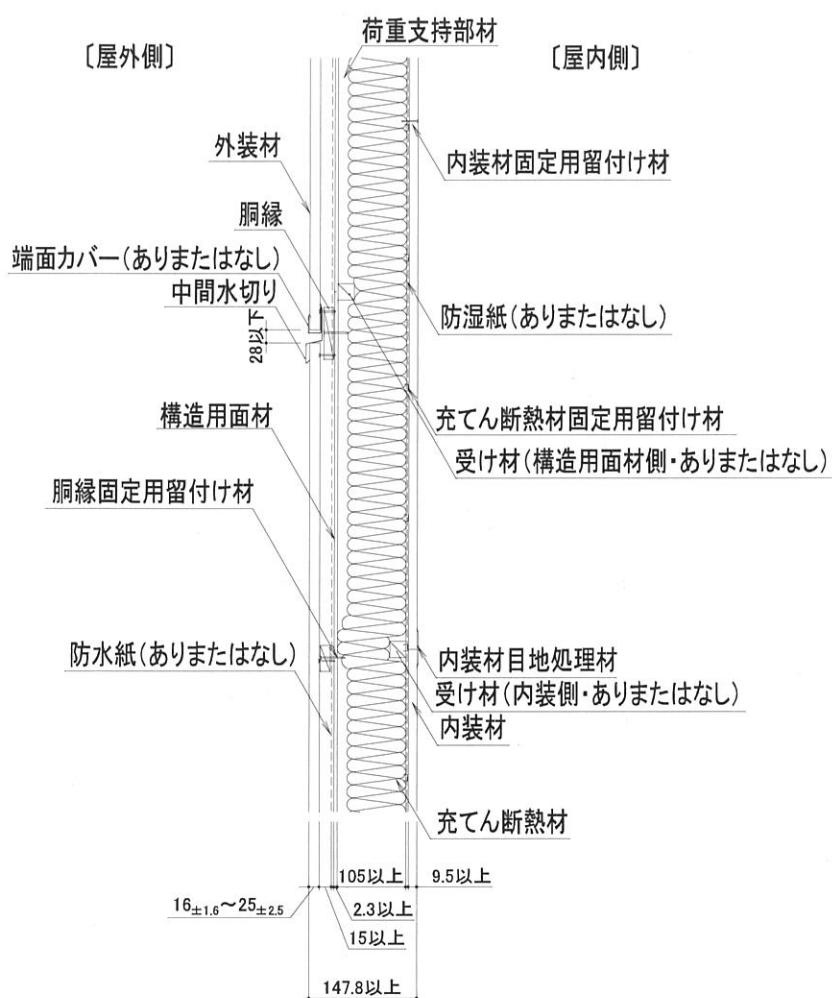
水平断面図(構造用面材ありの場合)



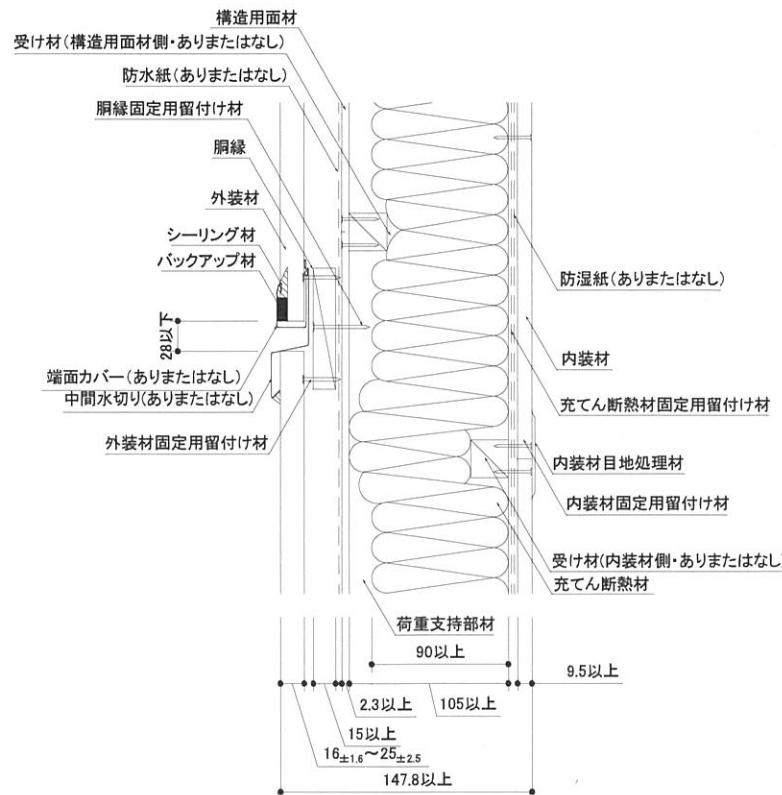
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

鉛直断面図(構造用面材ありの場合)

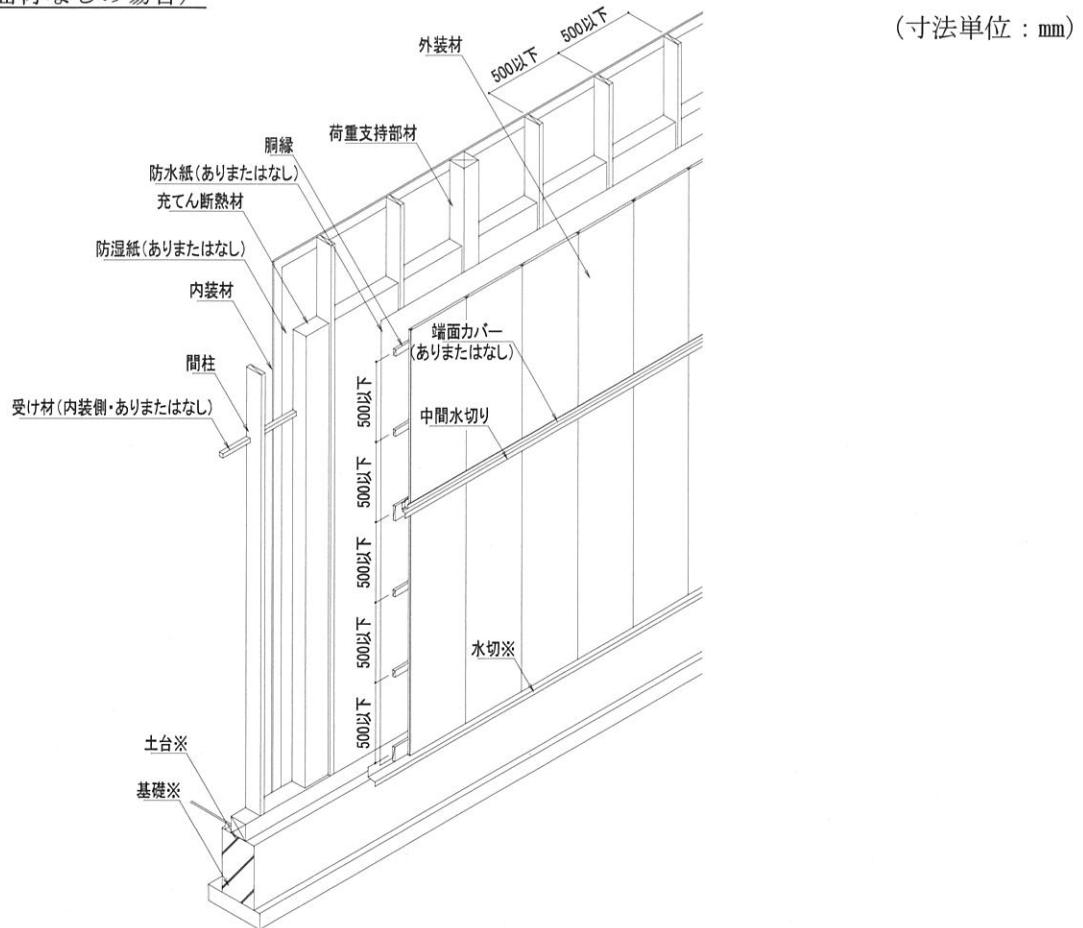


詳細図(構造用面材ありの場合)



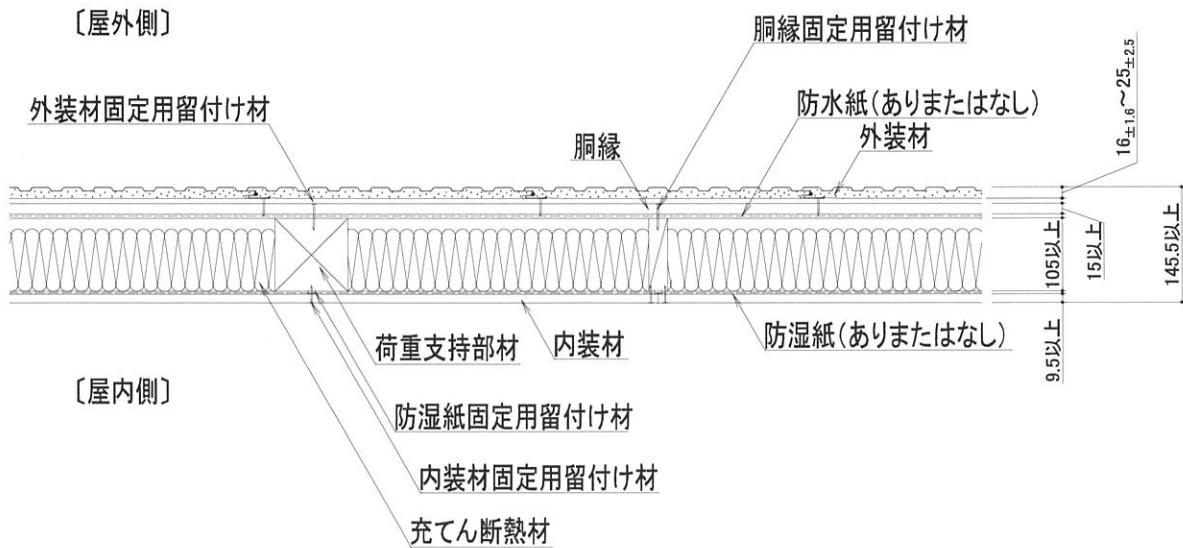
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

斜視図(構造用面材なしの場合)



(寸法単位：mm)

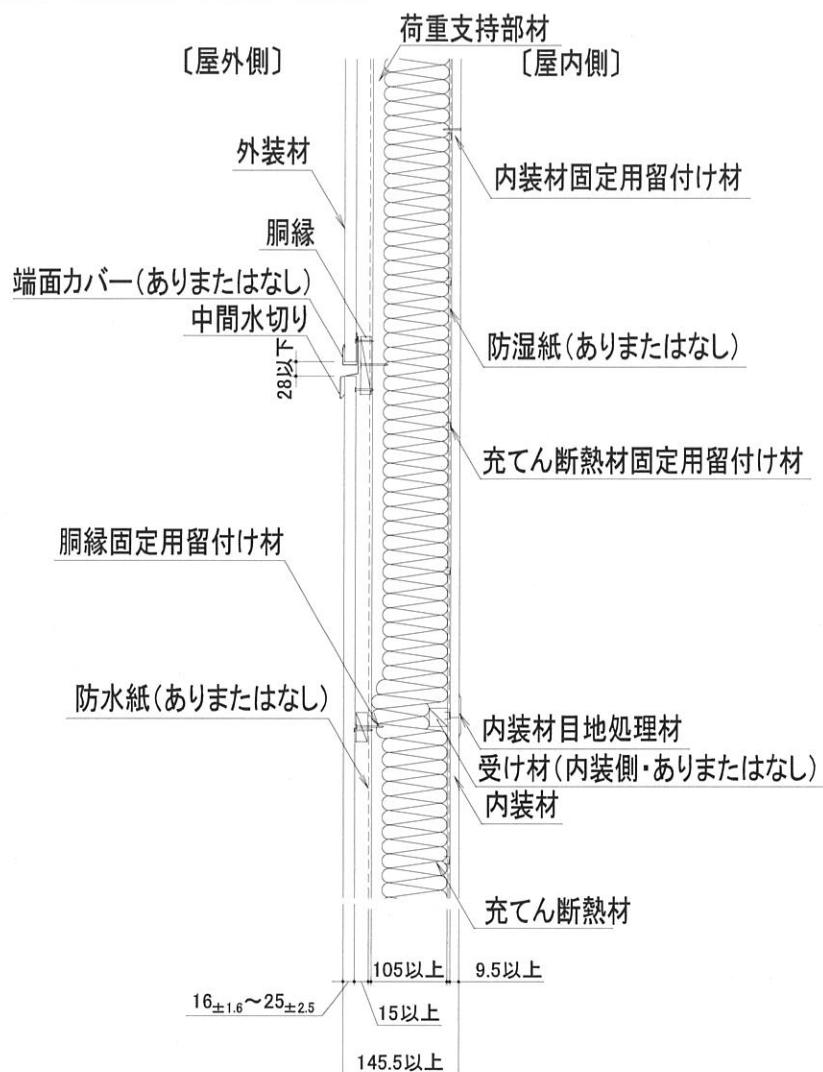
水平断面図(構造用面材なしの場合)



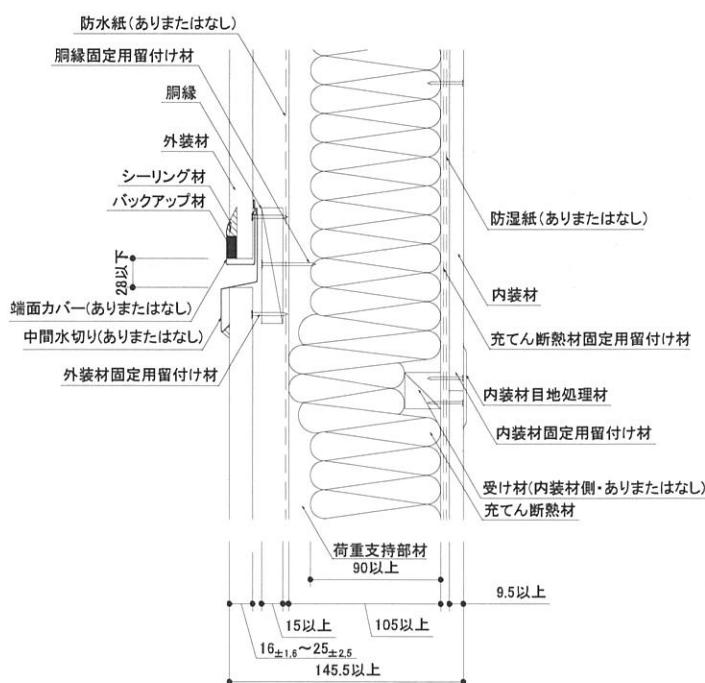
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

鉛直断面図(構造用面材なしの場合)



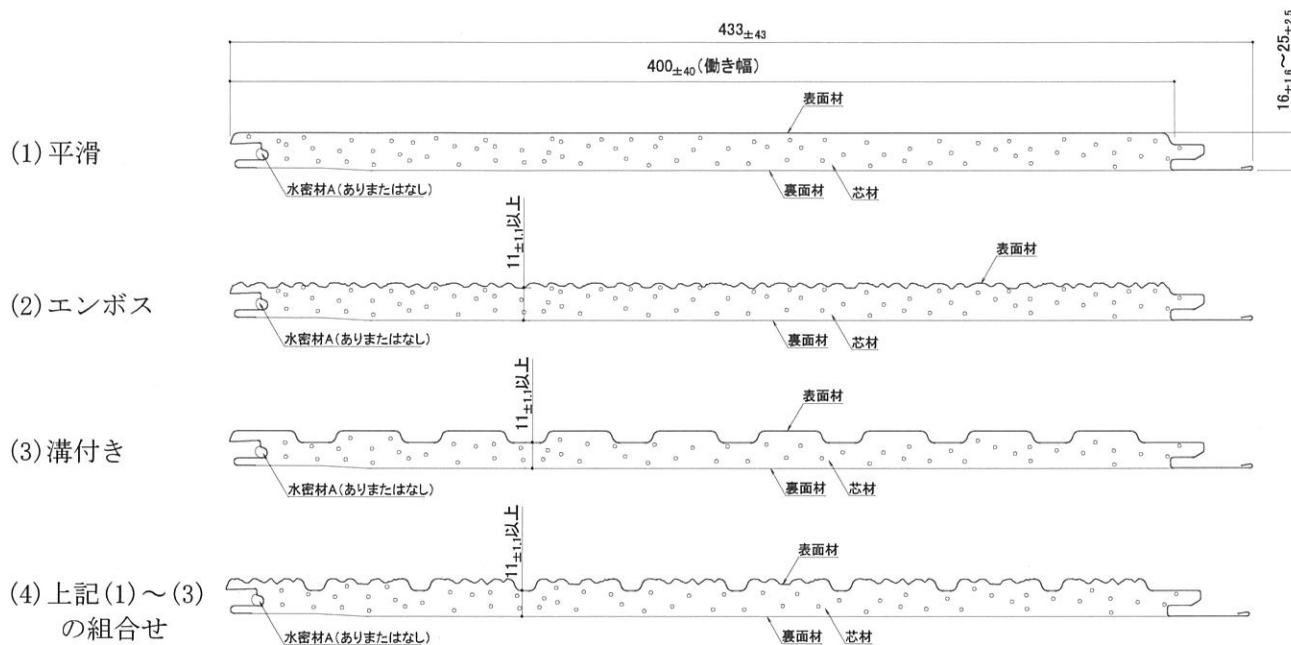
詳細図(構造用面材なしの場合)



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

外装材形状（断面）の代表例

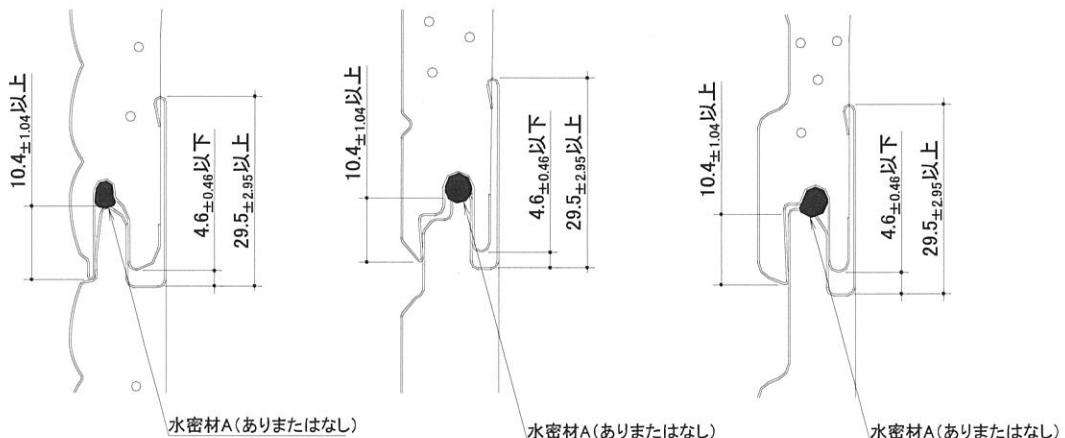
(寸法単位 : mm)

外装材形状（接合部）の代表例

仕様 1

仕様 2

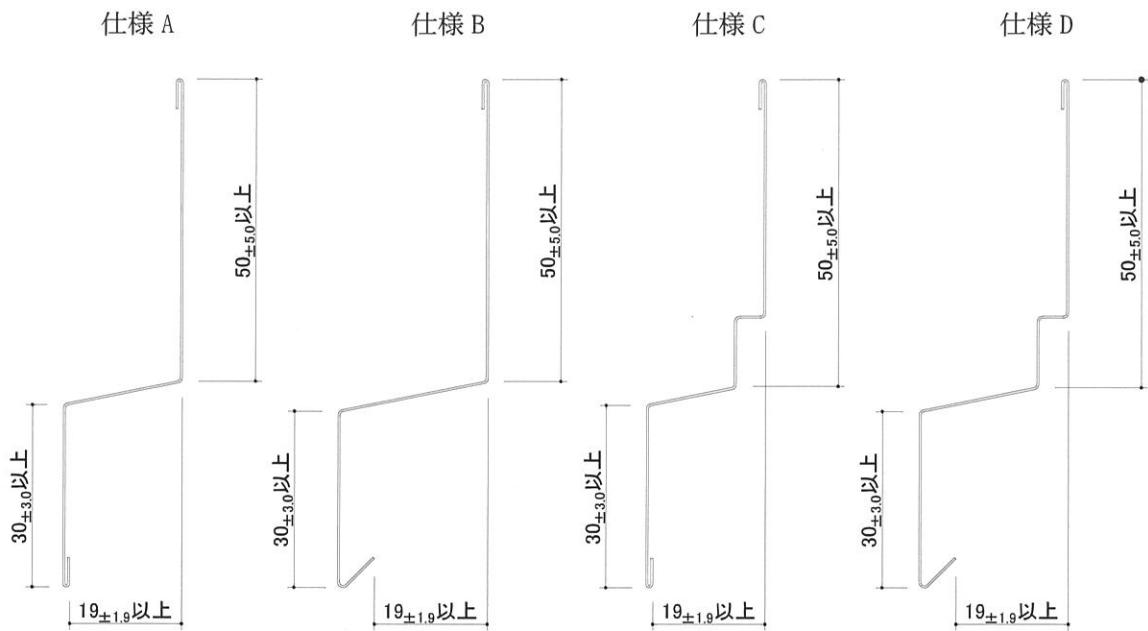
仕様 3



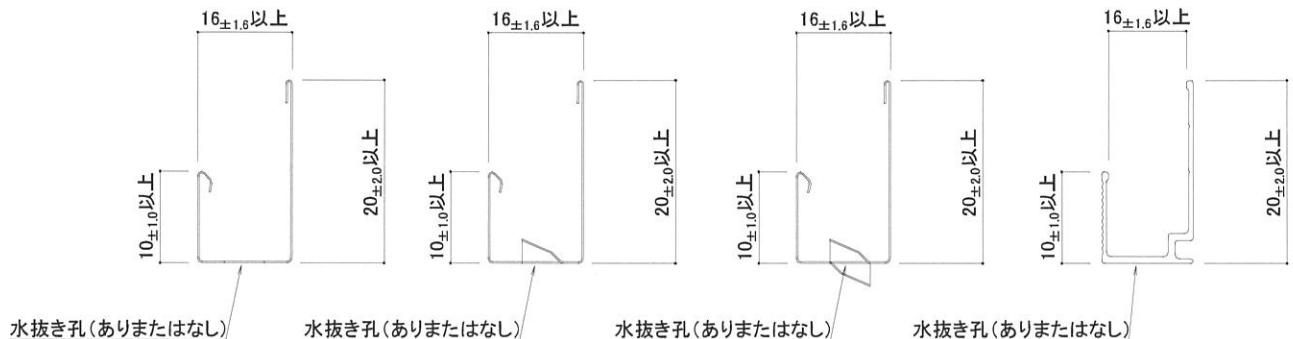
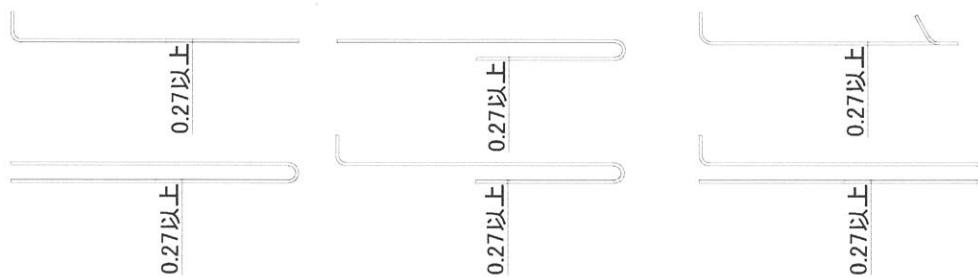
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

役物(中間水切り)の代表例

(寸法単位: mm)

役物(端面カバー)の代表例

仕様 a 仕様 b 仕様 c 仕様 d

補強金物の代表例

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

(1) 下地

荷重支持部材、間柱、受け材は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。構造用面材を荷重支持部材、間柱、受け材に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

(2) 充てん断熱材の取付け

荷重支持部材及び間柱の間に充てん断熱材を入れる場合は、ステープルを用いて取付ける。

(3) 水切、スターター（端面カバー）の取付け（評価対象外）

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープルを用いて留付ける。

(5) 脊縁の取付け

荷重支持部材又は間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) 役物（中間水切り、端面カバー）の取付け

・役物（中間水切り）を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

・役物（端面カバー）を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(7) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

(8) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープルを用いて留付ける。

(9) 内装材の取付け

内装材はくぎ又はねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて、縦目地部にせっこうパテを塗布する。また、ジョイントテープを用いてもよい。